がんばろう福島

情報をお寄せください　メールアドレス:sn-fukushima@sponichi.co.jp

【☎】024（533）7011
【FAX】024（533）2117
広告のお申し込み・お問い合わせは
【☎】03（3820）0691

初優勝に喜びいっぱいの尚志

焦らず　慌てず　諦めず　我慢
平成25年度尚志高等学校男子排球部保護者一同

小林スパイクさく裂

男子 尚志2戦ストレート初V

第24回東北私立高校男女バレーボール選手権県予選会第1日（28日　福島市国体記念体育館）

3校による男子決勝リーグでは、尚志が2戦全勝で初優勝を果たした。エース小林大気主将（3年）が好機にスパイクを決め、2戦ともストレートで勝利をものにした。上位3校は東北選手権大会（9月5日開幕、須賀川市須賀川アリーナほか）に出場する。

▽男子決勝リーグ
尚　志2（25－6　25－2）0日大東北
尚　志2（25－11　25－5）0帝京安積

初戦の日大東北戦を2—0で勝利した尚志。その約30分後、1勝同士で迎えた帝京安積との最終戦。第1セット開始からエース小林主将のクロススパイクが決まり主導権を握り第1セットを先取。第2セットも、小林主将の破壊力のあるスパイクを中心に、9連続得点を挙げるなど点差を広げ25—5で勝利した。

昨年大会は帝京安積にフルセットで敗れ結局、準優勝だったが、今年は決勝リーグをすべてストレート勝ちの全勝で、02年創部以来、初優勝を手にした。

小林主将は「県高体、県総体とも自分たちのプレーができず初戦敗退したので、この大会に懸けてきました。優勝できてうれしいです」と笑顔で汗を拭った。特に県高体直前には、体育館の耐震工事で練習場所の確保が厳しくなるなど、最後の調整が間に合わなかった。現在も状況は変わらないが、学校近くの市営体育館を確保し、紅白戦など実戦を重ね今大会の優勝を引き寄せた。

県1位で出場する東北選手権大会。就任4年目の風間弘充監督(39)「まずは予選リーグを突破させたい」と目標を掲げた。現在、部員34人。経験者は小林主将を含む6人で他選手は高校入学からの〝初心者〟。指揮官が就任した11年時は部員4人だった。小林主将は「一つ一つ階段を上がってきました。全員の力を合わせ勝ち上がりたい」と気合十分。県制覇を自信に目標に向かって突き進む。（佐久間　尚子）

＜尚志・帝京安積＞好機にスパイクを決める小林主将（右）

小林跳躍力UP

〇…エース小林主将の身長は1㍍67。スパイカーとしては小柄。だが、入学当時の最高到達点は2㍍90だったが、現在は3㍍20まで飛躍した。風間監督の指導で下半身強化の筋トレを実施するなど、日々の練習を真摯（しんし）に行ってきた。これまで、太腿のサポーターのサイズはMだったが現在は2L。小林主将は「ジーンズなどズボンの太腿がきつくて」と笑った。

▽男子決勝リーグ
帝京安積2（25－15　25－18）0日大東北

東北へ出直しだ

＜帝京安積＞2年連続4回目の優勝は果たせず、1勝1敗で準優勝に終わった。伊藤優太主将（3年）は「特に尚志戦では相手エースのストレートを止めるシフトで臨みましたが、通用しなかった」と肩を落とした。しかし、東北選手権大会への出場権は獲得しており伊藤主将は「もう一度、守備や攻撃を見直したい」と話した。

〇…その他成績…〇

【女子】▽予選リーグあブロック
磐城第一2－0尚志
磐城第一2－0学法石川
学法石川2－0尚志
※①磐城第一②学法石川③尚志

▽予選リーグいブロック
聖光学院2－0桜の聖母
聖光学院2－0福島東稜
福島東稜2－0桜の聖母
※①聖光学院②福島東稜③桜の聖母

▽予選リーグうブロック
日大東北2－0仁愛
福島成蹊2－0帝京安積
福島成蹊2－1日大東北
仁愛2－0帝京安積
日大東北2－0帝京安積
福島成蹊2－0仁愛
※①福島成蹊②日大東北③仁愛④帝京安積